

## 平成17年度 (仮称) 清田区地区センター建設ワークショップ 今後の予定

### 開催予定

- 平成17年 5月 「第4回 ワークショップ」
- 平成17年 6月 「第3回 公開講座」
- 平成17年 7月 「第5回 ワークショップ」
- 平成17年 8月 「第4回 公開講座」
- 平成17年 9月 「第6回 ワークショップ」

### 目標

- ◆地区センターの特徴の具体化
- ◆全体の施設イメージの共有化
- ◆利用しやすい管理・運営体制の検討

地区センターの  
基本的な考え方をまとめます

## 「(仮称) 清田区地区センター建設ワークショップ」に!

ワークショップや公開講座に関するご意見、ご感想、ご要望など何でもこの用紙にご記入ください。ワークショップでみなさんの貴重なご意見を活用いたします。

私にも言わせて♪

◆お差し支えなければ、ご記入ください。

ご住所



お名前

年齢 10代・20～30代・40～50代・60～70代・80才以上

性別 男性・女性

※この用紙をご利用のうえ、下記担当までファクスや郵送などでご意見をお聞かせください。

### ご連絡先

清田区市民部地域振興課地域活動係

住所: 〒004-8613 札幌市清田区平岡1条1丁目

☎ 011-889-2400(内線255) ☎ 011-889-2701

# (仮称) 清田区地区センター 建設ワークショップ通信

## No.1

発行日  
平成17年3月  
発行所  
札幌市清田区市民部地域振興課

※  
平成20(2008)年4月に  
(仮称)清田区地区センター  
が建設される予定です。  
そこで、清田区では  
建設の具体的な計画を  
立てる前に…

## こんな地区センターが あったらいいな!

平成16年11月から「(仮称)清田区地区センター建設ワークショップ」と「公開講座」を開催しています。

「(仮称)清田区地区センター」は、平成16年9月に公表された「札幌新まちづくり計画」の中で、「区民とつくる地区センターモデル事業【(仮称)清田区地区センター建設】」として計画されました。

清田区では、平成20年度の施設開設に向けて平成18年度に「(仮称)清田区地区センター建設計画」を策定する予定です。「区民とつくる地区センターづくり」を目標とし、ついでには、計画策定の前に施設を用いることになる清田区民の皆さんと話し合う「(仮称)清田区地区センター建設ワークショップ」を開催しています。

また、ワークショップに参加しているメンバー以外の方々に、「地区センター」建設に関する情報のお知らせやご意見をいただく機会として、併せて「公開講座」を開催しています。

このニュースレターでは平成16年度に行われた3回の「ワークショップ」と2回の「公開講座」について皆さまに紹介します。

### 清田区地区センター建設までの流れ

このワークショップは平成16～17年度の2年間にわたり、議論された内容を可能な限り「地区センター建設計画」に取り入れ、区民に親しまわれるコミュニティ施設づくりを目指します。

#### 平成16年11月 「第1回 ワークショップ」

地区センターやワークショップについての説明と公募メンバーの自己紹介を行いました。

#### 平成16年12月 「第1回 公開講座」

「子育て期女性のライフスタイル調査報告～新地区センター建設のために～」をテーマに講演と意見交換を行いました。

#### 平成17年 1月 「第2回 ワークショップ」

既存の施設見学と施設見学で気づいた点について意見を交換しました。

#### 平成17年 2月 「第3回 ワークショップ」

第1・2回のワークショップの内容を確認し、より掘り下げた具体的な施設イメージについて意見を交換しました。

#### 平成17年 3月 「第2回 公開講座」

「求められるスポーツ施設～活用・運営・連携の課題～」をテーマに講演と意見交換を行いました。

平成17年度 ワークショップを3回、公開講座を2回開催し、地区センターの基本的な考え方をまとめていきます。

平成18年度 用地取得、地質調査、基本・実施設計など  
平成19年度 建設工事着工

平成20年度 2月 施設竣工  
4月 地区センター開館予定!!

### 「地区センター」ってなあに?

地域住民の生活文化、教養の向上とコミュニティ活動を促進するための施設です。区民センターの役割を補完するとともに公共施設から離れたところに住む住民の利便性を確保するための施設です。

### 設置の基準は?

人口が、概ね4～6万人程度の地域で、既存のコミュニティ施設の利用が不便な2～3箇合町内会単位の地区が対象となります。

#### 区民センター

- ①区全域
- ②20万人
- ③2,800～3,500m<sup>2</sup>

#### 地区センター

- ①既存施設の利用が不便な地域
- ②4～6万人
- ③1,200m<sup>2</sup>程度

①対象地域、②対象人口、③延べ床面積

※「(仮称)清田区地区センター」の建設場所は、望星・美しが丘地区の保護36号と旧道が交差する付近を予定しています。

清田区の皆さんが参加したワークショップの内容を次ページよりお伝えします!

# (仮称)清田区地区センター建設ワークショップと公開講座

平成16年度の進め方と各回のまとめを紹介します。

ワークショップのメンバーは、公募メンバー(清田区在住者)25名、アドバイザー(地域代表、学識経験者等)20名、事務局(清田区)8名の計53名で運営されています。

ワークショップではメンバーが少人数のグループに分かれて話し合い、出された意見を付せん紙に記入し、大きな模造紙に貼り付けて意見をまとめていく方法をとっています。その後でグループ毎に発表を行い、参加者の皆さんがお互いの意見を共有するように進めました。

## 第1回 ワークショップ

### ワークショップの目的と進め方を理解しよう

平成16年11月24日(水) 19:00~21:20 (於:清田区役所)

- ワークショップの目的や進め方、並びに地区センターのイメージを具体的にするため、他の施設がどのようにつくられているかを紹介しました。
- 参加者の皆さんと話し合いのイメージづくりを行い、自己紹介とともに「地域活動の課題」や「これからの抱負」「地区センターへの期待」などを語っていただきました。
- 参加者の皆さんから、「若い世代の意見を反映したい」「女性の目線を大切にしたい」「誰もが使いやすい仕組みのセンターにしたい」「将来を見据えてセンターを考えることが大切である」など、様々な意見が出ました。



## 第2回 ワークショップ

### 既存の施設を見学し、どんな活動や利用の仕方をしたいか考えよう

平成17年1月16日(日) 8:50~15:30 (於:清田区民センター)



- 第2回は、地区センターの施設内容について具体的に検討しました。
- 既存の「旭山公園通地区センター」「東月寒地区センター」「清田区民センター」の施設見学を行い、職員の方から施設の案内と説明を受けました。

- 既存の施設から具体的なイメージを検討し、地区センターについては「人に優しい施設にすべき」、「外観に凝らず、使い勝手の改良や機能の充実を図ってほしい」、「世代間の交流ができる場にしたい」、「屋外に駐車場兼多目的スペースを設置してほしい」などの意見が出ました。



## 第3回 ワークショップ

### (仮称)清田区地区センターの特徴をあげよう

平成17年2月23日(水) 19:00~21:00 (於:清田区民センター)



まとめられた意見を発表し、参加者全員で意見を共有します。

#### ◆当日の内容◆

「地区センターの特徴はどのようなものが好ましいか」「施設で何をしたいか」「どんな事業をしてほしいか」「特徴や取り組みたい事業を実現するためにはどのような空間利用の仕方があるか」についてグループに分かれて話し合いました。



#### 意見の一部を紹介します。

##### ☆親子が安心して過ごせる施設☆

- ・子どもも親も大人も使いやすいフリースペースの充実
- ・地域みんなで交流、子育て支援のできる場所
- ・調理室は余裕をもたせて、離乳食の講座を開催 …など

##### ☆広くシンプルな共有スペース☆

- ・気軽に飲みを飲みにきてもらうような休憩場所
- ・目的意識が無くても来て楽しめる、くつろげる雰囲気
- ・大きく使いやすい入口ロビー
- ・世代を超えた遊びの空間 …など

##### ☆多目的広場にも活用できる駐車場☆

- ・駐車場と併用できるイベント広場
- ・夏はお祭り、野外演奏会、冬は雪中運動会と多目的に活用 …など



模造紙にグループの意見をまとめています。

##### ☆他にはない特色のある施設☆

- ・野鳥の観察・天体観測施設の設置
- ・カラオケなどができる防音施設
- ・周囲に緑を多く配置
- ・館内飲食を可能とし、コンビニを併設 …など

その他、たくさんの意見が出ました。

## Q&A 「ワークショップ」って何だろう？

まちづくりやその計画づくりについて、参加者の皆さんが共同作業をしながら楽しく話し合い、お互いの考え方を参考にしながら、意見をまとめていく話し合いのことです。説明会などのように一方だけの話を聞くのではなく、また一部に集中した議論にならないよう、参加者皆さんの考えをまんべんなく取り上げて、意見のまとめができるような方法をとります。

・ワークショップの例 ワークショップにはいろいろな方法があります

#### 例1. 公園をつくる時には

図面上に、自分たちがほしい公園の配置図をマジックで描いたり、現地に行って実際の大きさを測ったり、公園模型をつくったりしながら公園のイメージを具体的に話し合います。

#### 例2. まちづくり全体の計画をたてる時には

街並みや公共施設を実際に見て考えるために街並み観察会を行ったり、まちづくり講座を開催して専門家との意見交換を行って、参加者同士気づいた点を話し合います。

## 第1回 公開講座

### 子育て期女性のライフスタイル調査報告 ～新地区センター建設のために～

平成16年12月19日(日) 13:00~15:50 (於:清田区民センター)



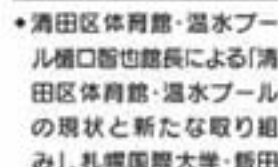
- 札幌国際大学・林美枝子先生による「清田区女性のライフスタイルと健康意識」、同大・飯田俊郎先生による「清田区の子育て期女性の地区センターへの要望」講演が行われ、将来の高齢化を見越して地区センターでの介護予防活動、健康づくり活動や資格取得講座・親子でできる体験教室などが提案されました。

「他の施設にないものをつくるべき」「親子で参加できる講座・子育てに関連する講座など受講したい」「家族全員が利用しやすい環境づくりが必要」など、活発な意見の交換が行われました。

## 第2回 公開講座

### 求められるスポーツ施設 ～活用・運営・連携の課題～

平成17年3月19日(日) 13:30~ (於:清田区民センター)



- 清田区体育館・温水プール横口哲也館長による「清田区体育館・温水プールの現状と新たな取り組み」、札幌国際大学・飯田俊郎先生による「スポーツによるコミュニティ形成」、同大・藤満保幸先生による「スポーツ施設＝舞台・主役はあなた」講演が行われ、総合型地域スポーツクラブの事例紹介などがありました。

「地域のみならず交流できるようなスポーツ施設」「活用しやすくするためにはスポーツ講座などのプログラムづくりも重要」「子どもと高齢者に利用しやすい施設であることも大切」などの意見が交わされました。

平成17年度のワークショップでは、どのようなイメージが作られていくでしょうか？今後の予定と次ページのお知らせをぜひご確認ください！